

目標

2

にぎわいを生み出す
個性豊かなまち

次に「目標2 にぎわいを生み出す個性豊かなまち」についてであります。

本町は、県営名古屋空港のほか、航空館boon・あいち航空ミュージアム・MRJミュージアムの3つもの航空機関連展示施設が存在する、まさに「ヒコークのまち」となっています。また、全国で唯一、国産ジェット旅客機の最終組立工場が立地する「ヒコークをつくるまち」でもあります。これまで、町内の見どころを紹介するパンフレットの作成や、観光ホームページの開設を実施してまいりました。また、町内飲食店や食品

事業者のご協力により、飛行機に関する商品の開発を行ってまいりました。今後も町への来訪者の一層の増加に努め、町全体の活性化を図ってまいります。

具体的には、あいち航空ミュージアムや旅行者と連携した体験プログラムを実施いたします。また、航空館boonの展示物についても改修を行ってまいります。より多くの方に利用していただけるよう、小学生とその保護者の皆様を意識した、子ども目線の展示解説への更新や、SNSを通じたPRを図るための写真スポットの設置を実施してまいります。

また、5年以上東京23区に在住した方などが本町に転入された場合には、その方を支援するため、新たに支援金制度を創設いたします。単身者には60万円、世帯には100万円を支給いたします。

農業につきましては、青塚屋敷地区のポンプ更新工事や神戸地区の鋼製転倒ゲートの補修工事、神明地区の用水管補修工事など、引き続き、農業施設の適正な維持管理に努めてまいります。

町民農園につきましては、4月から、神明地区に駐車場を備えた、1区画あたり15平方メートル、計39区画の農園を開設いたします。利用料は1平方メートル当たり月額200円を予定しています。近隣の方ももちろん、広く町民の皆様にご利用いただきたいと思います。

目標

3

安全・安心で
住みやすさを
実感できるまち

「目標3 安全・安心で住みやすさを実感できるまち」についてであります。

第4次総合計画では「タウンバスを中心とした公共交通の充実」を重点戦略とし、自動車に頼らなくても、誰もが安全・安心で便利に、行きたいところに行ける地域公共交通を実現するため、「地域公共交通網形成計画」を定め、とよまタウンバスの利便性や地域の公共交通環境の向上に努めてまいりました。今年

す。

「地域公共交通網形成計画」は平成31年度に計画期間が終了いたします。県営名古屋空港の利用者数の増加や、MRJ最終組立工場の本格稼働、二つの航空関連ミュージアムのにぎわいなど、公共交通を取り巻く環境の変化に対応するため、2020年度を初年度とする新たな計画を策定いたします。

防災につきましては、災害時における避難所の機能を充実させるため、新たに小中学校4校と福祉避難所である総合福祉センターの木の各1台ずつ、要配慮者のための仮設トイレを整備してまいります。

防災行政無線につきましては、平成29年度に策定いたしました基本計画を基に、デジタル化に向けた工事を行ってまいります。平成31年度は移動系防災行政無線の更新工事を実施してまいります。

防犯につきましては、犯罪発生抑制を目的に、平成26年度から、順次、防犯カメラの設置を進めてきております。平成30年度までに、役場を始めとする公共施設など14か所に、計28台の防犯カメラを設置してまいりました。平成31年度は、富士学習等供用施設と八所神社、町道143号線アンダーパス西側の3か所に設置してまいります。

交通安全につきましては、本町の平成30年の人身事故の発生件数は94件と、平成29年の100件と比較して6件、減少させることができました。これは、地域

